

田植え、速くかつ正確に

大曲農高 学年対抗で「競技会」



手植えの速さと正確さを競う生徒

苗を植え付けていった。

生徒は声をかけ合い、田んぼの外から苗を投げ入れる役割と、苗をキャッチして植え付ける役割を分担。各学年ともチームワーク良く作業を進めていた。

1位に輝いたのは3年生チーム。タイムは45分45秒で、2位の2年生チームとは16秒差だった。3年の大山瑞稀さんは「ぎりぎりの戦いだったので、最後はすごく焦った。みんなで楽しく協力できたのが、優勝につながったと喜んだ。

競技会は5月27日に実施。

植えた苗は今後、生徒が化学肥料や農業を使わずに管理する。収穫後は地域のイベントで販売する予定。

(針金友理子)

大仙市太田町の大曲農業高校太田分校で、毎年恒例の全校田植え競技会が開かれた。1〜3年生18人が参加し、汗を流しながら学年対抗で手植えの速さと正確さを競った。学校敷地の田んぼ約12アールを三つに区切り、コースを設けた。生徒は作戦タイムの後、「頑張るぞー!」と陣を組み、合図と同時に田んぼへ。ぬかるみに苦戦しながらも転倒しないよう慎重に足を踏み入れ、腰に付けたかこの中の